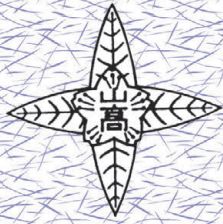


## 第70号

編集・発行  
 日本大学山形高等学校  
 図書部  
 図書委員会

発行日  
 平成27年2月18日

(株)大風印刷



日大山形

# 図書館報



## 「ふるさと」

教頭 江口善紀

「ふるさと」という言葉に、私は縁がないと思っていたし「ふるさと」を実感することもなかった。なぜならば、東京生まれの東京育ちで昨年の三月まで、井の頭公園近くの三鷹市下連雀で人生の大半を送ってきたのである。しかし、四月に山形に赴任し三鷹市を離れ単身生活を送ってみると、ひしひしと「ふるさと」三鷹のことを思い出すとともに、「ふるさと」の存在を実感するのである。タヌキが出る。いや、タヌキなんて珍しくない、この間キツネが横切ったのを見た。といった会話は、私が育った昭和三十年代の三鷹では、それこそ別に珍しいものではなかった。実際に私は、夕日の中、ススキが生い茂る玉川上水岸から道路を横断し反対側の原っぱに消えていく、獣のシルエットを目撃したことがある。おそらくタヌキだと思う。

当時の私は、学校から帰るとランドセルを放り出して、玉川上水沿いにある「有三青少年文庫（旧山本有三邸・現三鷹市山本有三記念館）」へ駆け出して行った。有三文庫では子供たちのために図書を貸出していて、その都度カードにスタンプを押してくれた。スタンプがたまると、洋館の雰囲気が好きで、友達と一緒に行き、閲覧室で騒いで叱られたものである。

また、近くに禅林寺という寺があり、裏の墓地で隠れん坊や肝試しをよくやったものである。その時は、その

墓地に、二人の著名な文学者が眠っているとは、知る由もなかった。後で知ったその二人とは、森鷗外（津和野町永明寺にも墓がある。）と太宰治である。そういえば、私の父は写真が趣味であり自宅で見像までしていた。何となく、父の撮った写真を見てみると。その中に、昭和二十六年、太宰治と三鷹の美容院の女性、山崎富栄が玉川上水に入水自殺した。その引き揚げ作業の写真があった。子供の私には少しショックであった。今では想像が出来ないが、当時の玉川上水は水量が多く「人食い川」と呼ばれていた。

大きなものではないが、私が生まれ育った「ふるさと」ゆかりの文学に関わる記憶をひも解いてみた。私も大人になって、右記の作家を含む文学作品を何篇か読んだが、自分の知っている「ふるさと」がストーリーの中に表現されていると、リアルに風景が浮かび上がり楽しく読めたことが思い出された。現在、山形に生活すること、少しは山形の文化や景色が頭の中に入ってきた。過去にも山形に関係した文学作品を読んだことはあるが、改めて、山形を舞台にした作品、あるいは山形出身の文学者の作品を読みたいと思う。きつとすばらしい情景が浮かび上がってくることであろう。



禅林寺山門



有三青少年文庫（山本有三記念館）

# 私の読書道

第15回

## 「二冊の本との出会い」

教諭 黒田孝則（保健体育）

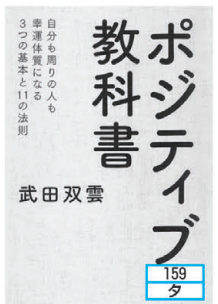
高校、大学を振り返ってみると、読書というよりもスポーツ誌を読むことが習慣でした。中高等学校とバレーボール部に所属していましたから、毎日、授業と部活動で一日が終わり、年に数回の休みはとにかく休養でした。本当に本を読む習慣がなく（本当に悔やんでいます）、せいぜい雑誌（スポーツ誌）を読むくらいの生活でした。

今回は教員生活の中で出会った二冊の本を紹介します。まず一冊は、『悩みグセ』をやめる9つの習慣（和田秀樹著）。私自身が物事に悩み、一步を踏み出すことができずにいた時に、この本に出会いました。作者の和田秀樹さんは精神科医で、小さい頃は勉強できるだけがとりえのいじめられっ子であり、他人からは「性格が悪い」「いやな奴」と思われていたようです。医者として人の心の理論を勉強し、いろいろな患者さんの悩みを聞くことで、少なくとも心を悩まされている人たちの多くが自分と同じように、まずいパターンの考え方やものの見方をしてることに気づいたそうです。「少し考え方を変えただけで明日は変わる」「悩む前に、まずやってみよう」という作者の考え方に共感すると同時に、私の人

生を楽しむ方法を教えてくれた一冊でした。もう一冊は、『ポジティブの教科書』（武田双雲著）。誰でも気分が落ち込む時や、「自分は運がついていない。不幸だ。」なんて考えることがあると思います。でも、このとらえ方はすべてあなたの考え次第。あなたもこの一冊でポジティブ人間に変身してみよう。幸せを感じると明るく前向きになれますが、幸せの基準は曖昧で、人それぞれです。「他人との比較」ではない「自分は自分」であり続けるためのスキルを身に付けるために、本に出てくる「幸せになる三つの簡単な基本」を紹介します。①幸せを与えること、②幸せであることに「気づくこと」、③幸せな言葉を発し、幸せな態度をとること。この基本を実践するための法則が詳しく書かれています。是非、一読してみてください。

高校を卒業して三十年が経ちました。振り返るとあつという間でした。生徒の皆さんには、とにかく今できることに一生懸命取り組み、組んでほしいと思います。私も日々成長するために、前向きにチャレンジしていきたいと思えます。

※このコーナーは、図書選定委員の先生方のリレー形式となっております。



## としょかんニュース

### 本校を思つ心が

#### 先輩方による本の寄贈

日大山高校校友会より本の寄贈があり、今回で二十三日目です。この会は山新グループの本校卒業生による会で、会長は木嶋正英氏です。昨年十月に木嶋会長が図書館を訪れ、今までに寄贈された本をご覧になりました。先輩方の母校への愛情に感謝の気持ちをもって、これらの本を活用したいものです。これまでいただいた冊数は三百二十五冊になりました。今年もさまざまなジャンルの本がそろいました。ぜひ読んでみてください。



### より活発な活動のために

#### ミーティングルームと閉架書庫の設置

四月から新たに図書館の近くにミーティングルームを設けました。ミーティングルームは、委員会の打合せなどに利用して、資料を広げて作業がしやすく、生徒に好評を得ています。集中して取り組んだり、多くの利用者とコミュニケーションをとることで、より良いアイデアがうまれることを期待しています。また隣りには閉架書庫も設け、たくさんの方の図書を館内から移しました。様々な方の協力があり作られた場所なので、感謝しつつ充実した委員会活動にしたいと思います。



# 平成26年度 日本大学山形高等学校 芸術鑑賞会

平成26年6月25日(水) 会場：山形市民会館にて 『ザ・ソウルマティックス』

## 芸術鑑賞会を通して

三年七組 鈴木 功 祐



驚く美しいコーラス

昨年の六月に行われた芸術鑑賞会は、ゴスペルグループ「ザ・ソウルマティックス」によって盛り上がりを見せた。実際にゴスペルを聞くのは初めてなので、とても楽しみだった。

「翼をください」や「アメイジンググレイス」、そして話題となった「アナと雪の女王」の「Let It Go」などの曲が、十数名ものメンバーによる美しい歌声で、会場全体に響きわたった。中でも本校の校歌をゴスペル風にアレンジして歌ったことにとっても驚いた。校歌が神々しく思えた。彼らの歌う曲の一つ一つが、感動を与えてくれた。ゴスペルとは大人が好むような印象があったが、これを機に年齢問わず人々に好まれる音楽だと感じた。

メンバーの一人から、自分の過去についての話と、夢は諦めなければ叶う、だから自分もこうしてゴスペルをしているという旨の言葉があった。この言葉とグループ名の通り、魂のこもった歌声に勇気づけられた人は多いことだろう。私も進路やその先の将来に向けて、夢を叶えるために、日々の努力を怠らないようにしたい。

魂を感じるステージ



魂を感じるステージ



11月4日(火)

### 第3回 リハーサル



・本番と同じように通してみんなが読む。  
・学級担任や図書館運営担当の教員も参観！また違った緊張感？！

10月27日(月)

### 第2回 練習会



読む練習！グループで感想を出し合いながら。それぞれ1冊読むのにかかる時間を計時したりも。

10月21日(火)

### 第1回 オリエンテーション



・特別講師の方をお招きしての講習  
・グループ分け(園児と学童)  
・自分の読む本を選び、決定

11月10日(月)

### 第4回本番！～放課後みんなで歩いて幼稚園へ！



園児への読み聞かせ



学童クラブでの読み聞かせ

## 平成26年度 図書館講座

～読み聞かせをしよう～

平成26年度 図書館講座

### 「読み聞かせをしよう！」

小学生の児童や幼稚園の園児に  
絵本の読み聞かせをしてみませんか？

読み聞かせに興味がある人、保育・福祉・医療関係への進路を考えている人、ぜひ参加してください。基本的に1・2年生を中心としますが、3年生でも構いません。男女は問いません。みんなで読み聞かせの楽しさを体験しましょう！

※申込は...図書館まで。定額15名様座になります。締切日は10月17日(金)です。

●日時 2014年11月10日(月) 放課後

あおぞら幼稚園にて

●練習会 10月21日(火)

10月27日(月)

11月4日(火)

3:40pm～5:00pm 多目的室にて

※ 読み聞かせの準備ですが、都合がつかない場合は2日前までご連絡ください



日本大学山形高等学校 図書館

今年も、あおぞら幼稚園と学童クラブ(小学生対象)に 行ってきました！

## ◆参加者の声◆

▽久しぶりにたくさんさんの絵本を見てみて、一つ一ついろんな世界観があって楽しいなと思いました。友達に読み聞かせをすると自分では気づかないところもたくさんありました。本番までにたくさん直すことができました。(二年女子)

▽本番当日、緊張したけど、子供たちがすごく笑ってくれたり、反応してくれたので良かった。(三年女子)

▽子ども達も興味津々な表情でいたので、読んでいる側としても嬉しかった。(三年女子)

▽とても楽しかった。自分が思っていたよりも子ども達は元気だった。(二年女子)

▽小学生の子たちが静かに聴いてくれて、高校生よりえらいと思いました。(二年女子)

▽今回初めてだったのですが、来年もぜひチャレンジしていきたいです。(一年男子)

▽本を読み終わったときに、一人の女の子に、「まってるまってる。」もう一回読んで!!と言ってもらえて嬉しかった。(一年女子)

# 平成26年度『多読クラス賞』『ベストリーダー』決定!



今年度も『多読クラス賞』の表彰が、十二月十九日の終業式で行われました。各学年一位のクラスに、中村校長先生より賞状が授与されました。また、年間を通してたくさん読書をしてくれた人に『ベストリーダー』として賞状と賞品が贈られました。

四月から気持ちを新たに多読クラス賞やベストリーダーを目指して、たくさん読書をしていきましょう!

## 受賞クラスの図書委員の感想

一年四組

山本 早恵・横尾 鈴乃

一位になって驚きました。クラスに本を読んでくれている人がいて嬉しかったです。みんなでもっと読書量を競い合って、来年は全体的に本を読んでもほしいと思います。

二年十組

木村優里奈・小川 賢人

学年で一位になってびっくりしました。クラスのみんながいるいろいろな本を読んでくれて嬉しかったです。来年も多読クラス賞を目指したいと思います。

三年十三組

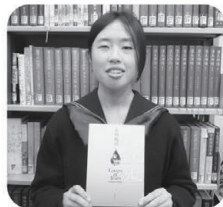
荒木健太郎・小林 凌

二年連続で一位になることができました。昨年一位だったので今年もとれるのでは?という期待から、借りる人が増えた結果だと思います。高校生活最後で学年と学校で最も本を借りたクラスになり、とても嬉しいです!

## ベストリーダー受賞者を代表して

三学年第一位 三年十三組 古城明日香

二年連続で学年一位になりました。ファンタジーを中心に読んでいますが、三年生になってから模試で出題された小説や評論古文が気になって読んでいました。表現力や読解力が身につくと思うので、みなさんぜひ読書をしていきましょう!



気分転換に読んでいたのが『吸魂鬼』だそうです



◆1年4組 5.5冊 ◆2年10組 7.5冊 ◆3年13組 10.6冊  
(全校生平均 1.4冊) ※平成26年4月~11月までの貸出冊数÷各クラスの数で集計

## 私の一冊

### 『しゃばけ』

皆さんはこの『しゃばけ』という小説を知っていますか?ドラマ化や漫画化もされている人気小説です。知らない方のために、この本について少し紹介したいと思います。

舞台は江戸。日本橋にある「長崎屋」という大店。主人公は若旦那と呼ばれる十七歳の一太郎です。一太郎は身体が弱く病気がちですが、なぜか妖を見たり、妖と話すことができます。そのためか一太郎のところには、長崎屋の内外から妖が集まってきました。江戸で起こる様々な事件を解決していきます。

時代小説という手取りにくいイメージがありますが、この本なら気軽に読むことができます。活字が苦手な人でも漫画化やドラマ化されたので、楽しめると思います。「しゃばけ」以外にもシリーズがあるので、ぜひ手に取ってみてください。

### 『まんがで学ぶアメリカの歴史』

あなたがアメリカに抱くイメージは、こうでしょう。「カッコいい、大国、日本より優れている」しかし、かつてのアメリカには人権の尊重、憲法、平等な参政権、公正な選挙、そんなものはありませんでした。そこには、圧倒的な先住民・奴隷に対する虐殺、差別、欠陥だらけの社会システム、暴力を用いた政争がありました。

当時の一流国のスペインやイギリスなどに比べると、二流だったアメリカ。なぜ現在の大国になったのかを著者のユーモアたっぷりの文章が伝えてくれます。まだ義務教育を終えていない人でも理解できる内容なので、興味のある人はぜひ読んでほしいと思います。

### 『妖怪アパートの幽雅な日常』

共同浴場は地下洞窟にこんこんと湧く温泉、とてつもなくうまいご飯を作ってくれる「手首だけ」の賄いさんー。

十三歳で両親を失った俺が高校進学と同時に入居したのは、人呼んで「妖怪アパート」!次々と目の当たりにする非日常を前に、俺の今までの常識は砕け散る。

妖怪アパートとあって鬼も幽霊も住んでいます。人間も住んでいますが、ちょっと変わった人ばかりです、というアパートが舞台。入居してから常識を粉々にされた主人公ですが、アパートの住人の温かい雰囲気になじんできていきます。

昌中 恵 著



ラリー・ゴニック 著



香月 日輪 著



三年四組 村山 七帆

# 図書委員会活動報告



### 六年間を振り返って

前期委員長 三年五組 無着 亮雄

私は図書委員として三年間、日大山形中での活動も含めると六年間、日大山形の図書館で過ごしてきました。

毎日のように放課後に顔を出し、夏休みの蔵書点検や桜華祭での古本市などの行事にも積極的に参加しました。時には力仕事や数日に渡る作業に嫌になる事もありましたが、たくさんの方々への支えがあり最後までやり遂げる事が出来ました。

中学校に入ったばかりの私は、とても人見知りで自分に自信が持てず、「ラクそうだから。」という理由で図書委員になりました。しかし、仕事も多く苦労したのを覚えています。毎日、図書館に顔を出しているうちに沢山の人の関わりをもつことが出来ました。図書委員の先輩達や先生方はとても優しく、図書館に通うのが楽しくなってきたのです。その中で、「責任をもって何かをする」という事の大切さに気がつきました。そして中学・高校と委員長として仕事を任せられるようになったことで、自分に自信が持てるようになりました。

私がかこまで変わったのも、図書館と図書委員のみなさん、司書さんやその他の先生方のおかげです。毎日が楽しく充実していたので六年間があつという間に過ぎていきました。みなさん、お世話になりました。



### よりよい図書館づくりを目指して

後期委員長 二年八組 山澤 茜

私は一年生の時から図書委員として活動してきました。そして、この度委員長として、責任ある立場に立つことになりました。不安はありますが、前向きに頑張りたいと思います。

図書委員会の主な活動を紹介したいと思います。カウンターでの本の貸出・返却や雑誌・新刊本の装備、本校の新聞記事を探すなど、曜日ごとに三つのグループに分かれて活動しています。他にも書店での図書の購入や蔵書点検、みなさんから毎年協力していただいている桜華祭での古本市などがあります。

みなさんには、図書館に様々なジャンルの本がたくさんあることを知ってもらいたいです。そして、委員長として本と触れ合う時間を増やしてもらえよう工夫していきたいと思っています。そのため図書委員と話し合いながら、私達の図書館をつくらせていきたいと思っています。

執行部を中心として、図書委員全員で頑張りますので、よろしくお願ひします。

活動目標 ● 「より多くの方が様々な本に出会える図書館づくり」  
キャッチフレーズ ● 「読んでみよう 何かが変わるはず」

## 平成26年度 図書委員会

図書委員会は、A（読書推進）、B（資料装備）、C（広報・データ）の3グループに分かれて活動しています。桜華祭での古本市など大きな行事・企画でも、執行部を中心に、協力し合い楽しみつつ、一生懸命取り組んでいます。

1組 伊澤 早智	2組 川田 幸嘉	3組 岩田みのり	4組 藤井美沙都	5組 中野 響	11組 安彦 優	10組 小関 莉乃(前)	9組 佐藤 美都(前)	8組 小林 誠之	7組 山口 桃佳(前)	6組 大滝 悠莉	5組 斎藤 優佑	4組 伊東ひかる(前)	3組 峯田 和希	2組 五十嵐涼平	1組 國井 柚季(前)
鈴木 智貴	峯田 政樹	亀山 晋也	渡部 彩夏	樋口 祐太	鈴木 郁泉	土屋 穂波	松岡 見奈	水谷 慶貴	寺村 陽里(前)	渡邊 烈瑠	長瀬裕太郎	岸 英李依(前)	吉田 智	増子 竣斗	安部 勝哉(後)
12組 伊藤 早智	13組 荒木健太郎	11組 中村 峻太	10組 西村 卓也	9組 神保 紘平	8組 齊藤 紘平	7組 大沼 辰洋	6組 鈴木 遥	5組 石山雄一朗	4組 村山 七帆	3組 奥山 雅奈(前)	2組 大類 翔	1組 竹田 智記	9組 伊藤 大晟	8組 山澤 茜	7組 柏倉 伊吹
鈴木 智貴	荒木健太郎	中村 峻太	西村 卓也	神保 紘平	齊藤 紘平	大沼 辰洋	鈴木 遥	石山雄一朗	村山 七帆	奥山 雅奈(前)	大類 翔	竹田 智記	伊藤 大晟	山澤 茜	柏倉 伊吹
近 遼	近 遼	近 遼	近 遼	近 遼	近 遼	近 遼	近 遼	近 遼	近 遼	近 遼	近 遼	近 遼	近 遼	近 遼	近 遼

〈前期執行部〉  
委員長 3年5組 無着 亮雄  
副委員長 3年9組 神保 歩  
グループリーダー A 3年13組 荒木健太郎  
B 3年10組 新田 大陸  
C 3年6組 鈴木 遥  
2年生代表 2年8組 山澤 茜

〈後期執行部〉  
委員長 2年8組 山澤 茜  
副委員長 2年4組 渡部 彩夏  
グループリーダー A 2年11組 真木 拓也  
B 2年11組 笠島 政信  
C 2年4組 藤井美沙都  
1年生代表 1年8組 水谷 慶貴



本のごとでわからない事があつたら、私達に聞いてください!

※(前)：前期のみ (後)：後期のみ

# ライブラリーフォト ~図書館・図書委員この1年~

**4月 前期委員会発足**



みんなに伝えるように説明を  
真剣に聞きます

**6月 前期雑誌リサイクル**



早い者勝ち!!

**図書選定**



みんなで楽しく

**7月 前期図書選定本解禁**




図書委員おすすめ!  
お気に入りの一冊

**8月 蔵書点検**



夏の暑い日でした  
作業しやすいように準備して

**古本市**



お買い上げありがとうございます!  
たくさんの方に来ていただきました

**10月 後期委員会発足**



初仕事です  
大勢の前で緊張します

**図書選定**



少数精鋭で  
みんなに読んでほしいな

**11月 図書委員研修会**



知らない世界に興味津々  
たくさん選んできました

**後期図書選定本解禁**



他校との情報交換も  
どれにしようかな?

**12月 後期雑誌リサイクル**



女子に大人気!

**常時活動**



1冊ずつついでに  
貸出手続は正確に

## 図書館からのお知らせ

図書館に入っただけのところに特集本コーナーがあります。手にとったり眺めてみたことはありますか?ここには季節に合ったものや、テーマに沿った本などを並べています。これらの本も、カウンターで借りることができます。

図書館に来たときにはぜひチェックしてみてください。



## 年間図書貸出ベスト10

平成27年 1月31日現在

書名	著者名	請求番号
1位 『リセット』	如月ゆすら	913.6 キ
2位 『そして誰もいなくなった』	アガサ・クリスティー	933.7 ク
3位 『リセット6』	如月ゆすら	913.6 キ
4位 『化物語 下』	西尾 維新	913.6 ニ
5位 『ログ・ホライズン1 異世界のはじまり』	橙乃ままれ	913.6 ト
6位 『大江戸妖怪かわら版3』	香月 日輪	913.6 コ
7位 『弁当男子』	池田 将友	913.6 イ
8位 『妖怪アパートの幽雅な日常1』	香月 日輪	913.6 コ
9位 『レイン』	吉野 匠	913.6 ヨ
10位 『珈琲店タレーランの事件簿』	岡崎 琢磨	913.6 オ

皆さんはランキングに入っている本をどれくらい知っていますか?ライトノベルスは今年も上位を占めており、ミステリーやファンタジーが人気のようです。その他には、第1回ありがとう大賞・特別賞を受賞した『弁当男子』や推理小説も入っています。また、みなさんからのリクエスト本が多いようです。これからもみなさんのリクエストにできるだけお答えできればと思っています。

図書館には、小説だけではなく他にもいろいろなジャンルの本があります。ぜひ図書館に足を運んでください!目当ての本がなければリクエストや予約も受け付けています。あなたに合った本が見つかるかも…。(2年 渡部 彩夏)

## 編集後記

図書館報も今号で70号を迎えました。大きさや発行回数の変更を経て現在に至るまで、図書館という空間で支えてくださったみなさんと時間を越えて繋がっていることを改めて感じます。利用者や読書傾向、読書を取り巻く環境は年々変わりますが、図書館は時代とともにありつづけます。図書館を作り上げてきてくださった方々に感謝しつつ、これからもたくさんの本とみなさんを繋げられる場でありたいと思います。(図書部)